

出生数の増加につながる満足度の維持・向上に向けて、施策の認知度向上ときめ細かな支援強化が必要

無関心層の増加

本県の子育て支援に満足感がない・無関心の方が増加

●R6子育て意識調査

福井県の子育て支援に満足しているか	R5:49.5%	R6:46.5%
・満足している	R5:49.5%	R6:46.5%
・どちらでもない・関心がない	R5:21.7%	R6:26.6%
・満足していない	R5:28.8%	R6:26.9%

施策の認知度と満足度

認知度↑ ▶ 満足度↑

子育て施策に対する認知度
5割以上:満足度54%
5割未満:満足度48%

出産満足度と出生

出産満足度↑ ▶ 出生数の増加↑

※横浜市立大学・黒木教授
分析より

充実した施策の認知度を高め、必要な人に届ける

「ふく育県」に対する評価・満足度

R5

72.8%の維持・向上

※福井県こども・子育て応援計画における総合評価・目標(R11) -1-

悩みや環境の多様化・複雑化

子育てへの課題として、育児に対する不安・悩みや養育環境(多子・多胎児、協力者の不在、疾病・障がい等)を挙げる方が多い

●R4厚生労働省調査

子育てに関して保護者が抱える課題等	
・育児に対する不安や悩みを抱えている	20.5%
・多子(多胎児含む)を養育している	17.2%
・育児等に配偶者や親族の協力を得られない	12.6%

本県の子育て支援対象世帯

・ひとり親世帯	6,300
・障がい児を育てる世帯	1,900
・医療的ケア児を育てる世帯	110
・多胎児を育てる世帯	900

様々な家庭事情に応じ、きめ細かな支援を強化

「ふく育推進チーム」の検討の方向性(案)

県内における子育ての満足度を向上させ、福井県こども・子育て応援計画に掲げる、誰もが子育ての「幸せ」と「よろこび」を実感できる社会 の実現に向けて、3つの方向性から施策を検討

I 実感が広がる「ふく育県」、子育て世帯に選ばれる地域へ

- 県内大学に進学する県内子育て世帯の経済的負担の更なる軽減の検討
 - ・ 県内進学促進と併せ、ひとり親家庭を含めて働き控えが生じている低所得世帯への支援充実も検討
- 様々な家庭に寄り添い、「ふく育県」の子育て環境をさらに手厚く、きめ細かに
 - ・ ひとり親家庭のキャリアアップ応援やサポート体制の拡充、休日・夜間の託児サービス充実 等
- 幼児教育や地場産給食、教育DXなど、子育ての強みをブランド化し、県内外の共感を醸成

II 福祉と教育の連携強化、親子のための多様な選択肢を拡大

知事×教育長×有識者による「こども応援円卓会議」を設置し、連携強化の仕組みを具体化

- ヤングケアラーのサポート体制強化（児童の生活を支えるSCやSSWの常態配置 等）
- 不登校児の学びの機会確保、AIを活用した「迷子にならないための地図」
- 医療的ケア児の通学支援、放課後等デイサービスの拡大、居住地校交流の推進
- 放課後こどもクラブの供給量拡大、長期休暇中の親子の選択肢を充実
- 児童福祉等に関する手続きの簡素化、合理化の検討

III こどもまんなかの環境づくり、ふく育県わくわく子育てパーク化

- エンゼルランドの魅力向上と県の公園における遊び場機能の拡充
- 市町の公園・遊び場等における改修や遊具の整備、インクルーシブ化等を支援
- こどもの学習意欲を高める学校環境の改善、官民共創イベント等による居場所づくり